

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	子ども・子育て支援課長 河原 賢	電話番号	0852-22-6071
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	みんなで子育て応援事業（こっころ事業）		
目的	(1) 対象	子どもやその保護者、子育て家庭を取り巻く県民	
	(2) 意図	誰もが、子どもや子育てに関心を持ち、子育てを社会全体で応援する気運を醸成する	
事業概要	子育てを社会全体で応援する気運を醸成するため、子育て家庭や妊娠中の方がいる家庭に対し、協賛店において様々な子育て支援サービスを受けることのできるパスポートを交付する。 子育て応援に取り組む民間団体や子育て支援の担い手の活動を活性化するため、当該団体や担い手に対し、活動経費の一部を支援する 子育てを社会全体で応援する気運醸成や子育て支援の取組の普及啓発を図るため、特に優れた子育て支援団体等を表彰する。 子育てや子ども、家族に関する楽しさ、うれしさや感動などをひとことでも表した「ここのは」作品を募集し、優秀作品を表彰する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	こっころ事業の協賛店舗数	目標値	2,380.0	2,410.0	2,440.0	2,470.0	2,500.0	店
	式・定義	こっころ事業の協賛店舗数（累計）	取組目標値		2,550.0	2,600.0	2,650.0	2,700.0	
			実績値	2,532.0					
			達成率	106.4					%
2	指標名	赤ちゃんほっとルーム登録数	目標値	320.0	340.0	360.0	380.0	400.0	箇所
	式・定義	赤ちゃんほっとルーム登録数（累計）	取組目標値						
			実績値	299.0					
			達成率	93.5	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	25,565	12,295
うち一般財源 (千円)	7,576	4,107

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> こっころパスポート事業の協賛店舗は、廃業等による脱退が95店あったが、新規登録が281店あり、186店舗増の2,532店となった。うち、中国5県連携店舗が408店、全国共通展開対応店舗が325店となっている。 こっころ隊の登録団体数は、3団体増の183団体、こっころ講師の登録数は11人増の131人となった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

協賛店の増加や中国5県連携に伴うPRや国の交付金を活用した広報番組の放映等により、こっころパスポートの認知度も一層向上していると認識しており、地域社会全体で子育てを応援する気運醸成に大いに寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の要請に答え、4月からパスポートの全国共通展開に参画したことに伴い、新パスポートへの切り替えを開始したが、普及が遅れている状況にある
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都など一部の都府県で参画が遅れていることに加え、切り替えが必要なことの周知と機会が少ないことが考えられる
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 切り替えが可能な場を増やす方策を検討するとともに、市町村の理解と協力を得る取組が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 今年度計画している「こっころ10周年」の各種イベントなどの機会を利用して、市町村の協力も得て、全国共通展開に対応したパスポートへの切り替えを促していくとともに、協賛店のPRも積極的に行い子育て支援の輪を広げていく
--

9. 追加評価（任意記載）

（空欄）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。